

伊賀市多文化共生推進プラン事業計画

第1期(2023-2026)

【2023(令和5)年度】

事業進捗状況調書

■施策の展開■

<p>1. だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-A-(1) 災害時・緊急時における協働体制の確立 1-A-(2) 外国人住民の高齢化への対応 1-A-(3) 地域における生活支援の充実 1-A-(4) 生活困窮等対策の充実 1-B-(1) さまざまな相談に対する支援の充実 1-C-(1) 就労と居住に関する支援の充実 1-C-(2) 外国人差別への対応 	<p>2. 教育・子育てしやすい地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2-A-(1) 子育て情報の充実 2-A-(2) 子ども・若者の居場所づくり 2-B-(1) 児童生徒一人ひとりに合った教育の推進 2-B-(2) 子育て支援に関する相談の充実 2-C-(1) 日本語指導、進学指導の充実 2-C-(2) 就学に関する情報提供の充実
<p>3. 国籍を越えた交流による地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 3-A-(1) 「やさしい日本語」の普及 3-B-(1) 文化・スポーツ交流の促進 3-C-(1) 学習・文化活動に参加できる環境づくり 3-C-(2) 外国人住民との連携・協働 	<p>4. 外国人住民も活躍する地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 4-A-(1) 日本語学習機会の拡充 4-A-(2) 双方向による情報受発信 4-A-(3) 外国人への偏見・差別の解消 4-B-(1) 住民の声を聴くための機会づくり 4-C-(1) まちづくり、地域づくりへの参画 4-C-(2) 外国人住民の人材育成と支援者の人材育成 4-C-(3) 外国人起業家などへの支援

「施策の取組の方向」は、

- 「A」 早急に取り組むべきもの
- 「B」 すぐに取り組めるもの
- 「C」 じっくり取り組むもの
と分類し表記しています。

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画						
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)		
1 だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり											
1-A-(1) 災害時・緊急時における協働体制の確立	① 平時からの情報の充実	◆多言語と「やさしい日本語」によるさまざまなツールを通じた情報提供	防災危機対策局	国際交流フェスタにおける防災啓発及び伊賀市防災・情報アプリ等での情報発信（多言語・やさしい日本語）	b：取組実績把握						
			秘書広報課	公式ホームページの多言語翻訳とやさしい日本語機能、および「カタログポケット」アプリでの広報いがの多言語翻訳を継続して運用する。	b：取組実績把握						
			地域連携部 各支所	施設内の案内表示を多言語に対応した解りやすいものにする。	b：取組実績把握						
			多文化共生課	イベントなどの機会に防災啓発を行うとともに、多言語情報紙及び多文化共生センターfacebook等を活用した生活情報を提供します。（多言語・やさしい日本語）	b：取組実績把握						
			伊賀の伝丸	SNSを活用した多言語やさしい日本語での情報発信							
			◆企業等における情報入手手段等の周知	エクセディ	避難訓練や安否確認メール訓練の実施						
	② 情報を「つなぐ」機能と体制の構築	◆既存のネットワークや企業、地域等の「まとめ役」を通じた情報伝達のしくみづくり	医療福祉政策課	地域生活課題について地域住民主体で解決に向けて協議を行う地域福祉ネットワーク会議を中心に、災害時においても情報が地域内で共有できるしくみを検討します。	b：取組実績把握						
			伊賀の伝丸	登録通訳者や日本語講師を介した情報発信							
			エクセディ	・緊急連絡先の把握 ・通訳を介した情報発信							
			◆ニーズ・困りごとの把握	同和課	各隣保館等総合相談事業での外国にルーツのある方等の施設等利用・総合相談件数調査	b：取組実績把握					
			多文化共生課	外国人住民アンケート調査の継続実施、また、平時の相談業務からニーズ・困りごとの把握に努めます。	b：取組実績把握						
			伊賀の伝丸	伴走支援中の家庭の現状把握							
	③ 地域参加を通じた日頃からの関係づくり	◆自治会及び自主防災活動への参加促進（「自治」への理解を深める）	防災危機対策局	防災知識の普及、訓練を実施する際、多様なニーズに十分配慮し、参加しやすい環境整備（防災講話等）	a：数値把握	防災講話	65回				

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画					
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)	
			◆日常的な交流から防災訓練等に参加をつなげるしくみづくり	伊賀の伝丸	自治会等の「外国人住民への広報」のサポート					
			◆外国人防災リーダーの養成	多文化共生課	外国人防災リーダーを育成する。（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修	受講者累計人数30人		
				医療福祉政策課	災害時に自分の身を守り、防災啓発を行うリーダーを養成するために、引き続き外国人防災リーダーの養成に努めます。	a：数値把握	外国人防災リーダー研修	15人		
				伊賀の伝丸	養成講座へノウハウの提供や事業協力					
				社会福祉協議会	外国人防災リーダーの育成事業（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修受講者数	受講者累計人数30人		
		④ 防災知識の普及	◆防災教室・防火救命講習の開催	消防本部（各課）	防火救命講習を開催する。	a：数値把握	防火救命講習を開催する。	1回以上		
				国際交流協会	イベントなどでの防災知識の普及		防災知識の普及	実施する		
				社会福祉協議会	外国人防災リーダーの育成事業（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修受講者数	受講者累計人数30人		
			◆地域、企業等における防災教室・防災訓練の実施	エクセディ	避難訓練や消火訓練の実施					
		社会福祉協議会		伊賀市災害ボランティアセンター設置訓練〈災害VC〉	a：数値把握	災害ボランティアセンター設置（運営）訓練への外国人防災リーダー参加者数	参加者9人			
		1-A-(2) 外国人住民の高齢化への対応	① 情報発信の充実	◆多言語と「やさしい日本語」による福祉情報の充実	障がい福祉課	障害福祉サービスから介護サービス移行対象者への情報提供（やさしい日本語・多言語）	b：取組実績把握			
					介護高齢福祉課	外国人被保険者へ通知を送付する際、やさしい日本語を使用しルビを入れたものを同封する。介護保険料の払い忘れなど早期対応が必要なものについては、上記に加え、ポルトガル語・スペイン語・中国語対応の翻訳文を同封する。	a：数値把握	通知件数	36件	
					地域包括支援センター	必要に応じて通訳者を介し、サービスや制度の説明を行う。	d：把握困難			
					保険年金課	窓口で説明する際には、外国語版パンフレットを活用するとともに、「やさしい日本語」を使う。	b：取組実績把握			

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画					
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)	
			◆外国人向けライフステージ・ライフサイクルに応じたセミナーの開催	エクセディ	ライフサポートセミナーの開催（50歳以上の従業員で希望者）					
			伊賀の伝丸	セミナー開催時の通訳派遣						
			◆社会福祉法人等との連携強化							
		② 相談体制の充実	◆通訳兼相談員の拡充	多文化共生課	多文化共生相談員を継続雇用します。	b：取組実績把握				
			◆窓口等における対応力の向上（「やさしい日本語」の習得やケースの共有など）	多文化共生課	窓口における相談等の対応力向上のため、定例会などの機会に相談ケースの共有や研修を実施します。	a：数値把握	研修会の実施	1回		
				社会福祉協議会	なんでも相談（おあいこ業務：生活困窮、自立相談、就労準備、家計相談等）〈市社協〉					
			◆関係機関における情報・課題共有の場づくり							
		③ 福祉人材の育成	◆外国人の福祉人材の育成	医療福祉政策課	福祉教育プログラムに基づいた取り組みについてさらなる推進を図り、福祉人材の養成に努めます。	b：取組実績把握				
				介護高齢福祉課	外国人の会計年度職員を雇用し、雇用期間中に制度の内容を習得することで、初期対応の時点で趣旨を捉え、スムーズに対応できるようにする。	a：数値把握	雇用人数	1人		
				伊賀の伝丸	福祉施設へ日本語講座の提供					
			◆外国人材の採用促進							
		1-A-(3) 地域における生活支援の充実	① 生活オリエンテーションの充実	◆生活オリエンテーションやセミナーの実施	多文化共生課	転入外国人に対する生活オリエンテーションを実施します。	b：取組実績把握			
					伊賀の伝丸	多言語生活相談				
					国際交流協会	多文化共生センター窓口の補完事業として軽微な相談活動及び関係機関等への取次				
					社会福祉協議会	日常生活の相談活動〈市社協〉 日常生活の相談活動〈民児連〉				
◆生活ガイドブックの発行	多文化共生課			身近な人が外国人住民とコミュニケーションを図りながら基本的な生活について説明できるよう伊賀市版多言語生活ガイドブックを作成します。	b：取組実績把握					

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画				
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)
展開方向		② 地域における良好な関係づくり	◆地域等における「まとめ役」となる人材の育成	多文化共生課	地域等の研修会や出前講座を実施し、多文化共生に関する理解を深めるよう努めます。	b：取組実績把握			
	1-A-(4) 生活困窮等対策の充実	① 生活困窮等の対策の充実	◆生活困窮等にかかる相談窓口の周知	生活支援課	外国人支援に関わる団体などに生活困窮者自立支援制度の周知啓発を行う。	b：取組実績把握			
				伊賀の伝丸	多言語生活相談の周知				
				社会福祉協議会	なんでも相談（おあいこ業務：生活困窮、自立相談、就労準備、家計相談等）〈市社協〉				
				多文化共生課	（再掲）窓口における相談等の対応力向上のため、定例会などの機会に相談ケースの共有や研修を実施します。	a：数値把握	（再掲）研修会の実施	1回	
			◆窓口における対応力の向上（「やさしい日本語」の習得やケースの共有など）	伊賀の伝丸	関係機関とのケース会議				
	1-B-(1) さまざまな相談に対する支援の充実	① 福祉・生活ニーズの把握	-	多文化共生課	（再掲）外国人住民アンケート調査の継続実施、また、平時の相談業務からニーズ・困りごとなどの把握に努めます。	b：取組実績把握			
				医療福祉政策課	福祉ニーズを把握するために、毎年地域を決めて地域福祉ネットワーク会議単位でアンケートを実施しております。また、地域福祉コーディネーターが地域支援の一環で把握している地域アセスメントについても引き続き把握を行います。	b：取組実績把握			
				障がい福祉課	窓口対応等の支援（やさしい日本語・多言語）	b：取組実績把握			
				生活支援課	経済的困窮だけにとどまらず、ひきこもりなど社会的孤立など幅広い相談に対応する。外国人が抱える問題に寄り添いながら関係機関と連携し自立に向けた支援を提供する。	a：数値把握	外国人からの新規相談件数	60件	
介護高齢福祉課				今後、外国人相談者がますます増加することを見込み、多文化共生課や地域包括支援センターと連携・情報共有しながら、効果的な制度の周知方法を検討する。	b：取組実績把握				
保険年金課				窓口で医療保険や国民年金の相談を通じて、生活に支援が必要であると思われる場合には、関係する部署につなげる。	c：その他				
健康推進課				母子健康手帳の外国語版の交付、予防接種予診票の翻訳等をすすめてきているところですが、各種案内文等対応できていない文書の翻訳をすすめていきます。	b：取組実績把握				

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画					
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)	
	② 相談・支援窓口における対応力の向上	-		多文化共生課	相談員への研修を実施する。	a：数値把握	相談員研修の実施	1回		
				医療福祉政策課	高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野にかかる相談支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業について、引き続き取り組みの推進を図ります。	b：取組実績把握				
				障がい福祉課	窓口で使用する申請書類の支援及び各種お知らせ等の情報提供（やさしい日本語・多言語）	b：取組実績把握				
				生活支援課	生活保護、生活困窮者自立支援の相談支援において多文化共生課の通訳の協力を得て、面談や文書の翻訳を行う。	c：その他				
				介護高齢福祉課	今後、外国人相談者がますます増加することを見込み、職員の「やさしい日本語」の習得や、対応をスムーズに行う手段（翻訳機器等）の使用等の検討を行う。外国人支援に関する研修やセミナー等積極的に参加し、課内で情報共有し、可能なことは順次実践していく。	a：数値把握	研修やセミナーへの参加・共有回数	1回		
				保険年金課	通訳員を雇用するとともに、対応できない言語については翻訳タブレットを活用する。	b：取組実績把握				
				健康推進課	訪問や相談対応時に通訳者の依頼や翻訳機等を利用して、相談や支援をします。	b：取組実績把握				
				伊賀の伝丸	外国人の現状や困りごとから相談対応のための講座 講師派遣 相談者のためのやさしい日本語講座 講師派遣 相談時の通訳派遣					
	1-C-(1) 就労と居住に関する支援の充実	① 就労支援の充実	-		多文化共生課	就労に関する情報発信など、商工労働課と連携して行います。	b：取組実績把握			
					商工労働課	多文化共生センターや通訳兼相談員などと連携しながら就労相談などを行う 人権啓発企業訪問の際に外国人雇用があるか確認の上、言葉や文化に対する取り組みを行っているか実態把握し、取り組みがないなら取り組むよう検討を促す	b：取組実績把握			
		② 居住支援の充実	-		多文化共生課	住居に関する情報発信など、住宅課と連携して行います。	b：取組実績把握			
					住宅課	賃貸住宅相談会の開催及び外国語通訳者の配置 安心住まい情報等の多言語版情報誌の設置 市営住宅募集にかかる多言語版の案内及び通訳者の確保	b：取組実績把握			

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画				
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)
	1-C-(2) 外国人差別への 対応	① 外国人差別に対 する相談と救済の実 施	-	伊賀の伝丸	居住支援相談会への通訳派遣				
				人権政策課	人権相談窓口における外国人差別に対する相談と救済の実施	b：取組 実績把握			
				多文化共生課	外国人差別に対する相談について、問題解決と当事者の救済に人権政策課と連携し取り組みます。	b：取組 実績把握			
				伊賀の伝丸	多言語生活相談				

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)				
						タイプ※	指標名	見込値(2023)	実績値(2023)	
2 教育・子育てしやすい地域づくり										
	2-A-(1) 子育て情報の充実	① 情報発信の充実	◆多様なツールを活かした情報発信	多文化共生課	多言語情報紙及び多文化共生センターfacebook等を活用した生活情報を提供します。（多言語・やさしい日本語）	b：取組実績把握				
				こども未来課（子育て支援室）	子育て支援に関する市の施策を一冊にまとめた「伊賀流未来応援の術」をもって、市民に対し分かりやすい情報提供を行う。また毎月開催される子育て支援センターの事業を市広報、ホームページ、通信等で情報提供する。	b：取組実績把握				
				健康推進課	子育て事業等、翻訳機やSNS等を利用して案内や子育て情報を提供します。	b：取組実績把握				
				保育幼稚園課	・窓口に（2か国語）通訳の配置。 ・公立2園には主にポルトガル語通訳が可能な保育補助の配置。 ・通訳者の不在時、または通訳者が対応出来ない言語の場合は、タブレット端末を利用した多言語通訳システムにより対応	b：取組実績把握				
				学校教育課	児童生徒や保護者が学校生活等に関する連絡や相談等について、母語で意思疎通できるように電話通訳等による対応を行う。また、県の外国人児童生徒巡回相談員やNPO法人を活用する。	d：把握困難				
				伊賀の伝丸	SNSを活用した多言語やさしい日本語での情報発信					
			◆子育てセミナー・交流会の開催	医療福祉政策課	高齢・障がい・子ども・生活困窮といった分野にかかる地域づくり支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業について、引き続き取り組みの推進を図ります。	b：取組実績把握				
				こども未来課	子育て世代の家族みんなで楽しく人権感覚を養うことでワーク・ライフ・バランスの実現につなげる。 子育てに役立つ話、親子ふれあい遊び等実施し親子の交流を深める。 ファミリースマイルアップ講座の開催（男女共同参画センター、文化都市協会、子育て支援室主催） お話の会、公開講座の開催（子育て包括支援センター）	b：取組実績把握				

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)				
						タイプ※	指標名	見込値(2023)	実績値 (2023)	
				健康推進課	妊娠期～子育て期における教室や相談事業(妊婦教室・乳幼児相談・離乳食教室等)にて、通訳者の依頼や翻訳機などを利用して、相談や支援をします。	b：取組 実績把握				
				伊賀の伝丸	子育てセミナーや交流会への通訳派遣					
				社会福祉協議会	外国人住民交流支援事業（国際交流フェスタの会場内にて缶バッジを販売し、伊賀市内の福祉活動を啓発）	b：取組 実績把握				
				◆通訳兼相談員の拡充	多文化共生課	（再掲）多文化共生相談員を継続雇用します。	b：取組 実績把握			
				◆窓口における対応力の向上 （「やさしい日本語」の習得や相談ケースの共有など）	多文化共生課	（再掲）窓口における相談等の対応力向上のため、定例会などの機会に相談ケースの共有や研修を実施します。	a：数値 把握	（再掲）相談員研修の実施	1回	
				伊賀の伝丸	外国人の現状や困りごとから相談対応のための講座 講師派遣 相談者のためのやさしい日本語講座 講師派遣 相談時の通訳派遣					
		◆支援が必要な子どもの早期発見	伊賀の伝丸	伝：相談者へのアウトリーチ						
		◆関係機関における情報・課題共有の場づくり	伊賀の伝丸	伝：ケース会議への参画						
		2-A-(2) 子ども・若者の居場所づくり	① 子ども・若者の居場所づくり	◆地域における子ども・若者の居場所づくりに関する取組の推進	こども未来課	関係各課と連携し、こどもの居場所づくりについて協議を行う。	b：取組 実績把握			
					生涯学習課	小学生を対象として、放課後や長期休暇中の活動拠点（居場所）を提供します。	b：取組 実績把握			
					社会福祉協議会	地域食堂連絡会を基点にした伊賀市内の地域食堂（こども食堂）の推進。	b：取組 実績把握			
			国際交流協会	日本のあそび、伝統文化などの紹介	b：取組 実績把握					
			伊賀の伝丸	若者支援（悩み相談、受診支援、就職支援） 学習支援教室ささゆりの運営実施（受託）						
2-B-(1) 児童生徒一人ひとりに合った教育の推進	①「特別の教育課程」による指導の推進	－	学校教育課	外国人児童生徒が日本語で学校生活を営み、学習に取り組むことができるよう、市内小中学校に在籍するすべての日本語指導が必要な外国人児童生徒に「特別の教育課程」を編成し、日本語指導を行う。	a：数値 把握	「特別の教育課程」を編成し、日本語教育に取り組む学校	100%			

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値(2023)	実績値 (2023)
				伊賀の伝丸	つたまる個別学習支援				
	2-B-(2) 子育て支援に関する相談の充実	① 発達支援に関する相談体制の充実	-	こども未来課	多言語での通訳・翻訳を受けられる体制づくり	c：その他	多言語化の対応	20回	
				伊賀の伝丸	発達検査などのへの通訳派遣				
	2-C-(1) 日本語指導、進学指導の充実	① 日本語学習指導の充実	-	多文化共生課	関係団体やNPOと協働し、外国につながりを持つ児童生徒に日本語による教科学習支援を行います。	a：数値把握	漢字支援教室開催回数 ささゆり教室開催回数	各40回	
				学校教育課	各校に日本語指導コーディネーターを派遣し、日本語指導担当者に対する指導や日本語能力測定方法等の研修などを実施するとともに、外国人児童生徒教育の担当者を対象に研修を実施する。	b：取組実績把握			
				伊賀の伝丸	つたまる個別学習支援 学習支援教室ささゆりの運営実施（受託）				
				学校教育課	市内すべての中学校において、高校進学等に向けた進路指導・キャリア教育を実施する。また、外国にルーツをもつ児童生徒とその保護者を対象に進路ガイダンスを開催し、高校入試や進学後の費用等について説明する。	b：取組実績把握			
				伊賀の伝丸	若者支援（既卒の進学支援） 学習支援教室ささゆりの運営実施（受託）				
	2-C-(2) 就学に関する情報提供の充実	① 就学に関する情報提供の充実	-	学校教育課	多言語版の就学パンフレットを用いて、日本の学校教育や就学の手続き、学校生活等の説明を行う。	c：その他			
		② 未就学児童への対応	-	学校教育課	住民課と連携し、住民登録の際には教育委員会にも来ていただくよう依頼する。万一、未就学の児童生徒を把握した際には、家庭訪問のうえ就学を促す。外国人学校へ通学している場合も、在籍証明書の提出を依頼する。	c：その他			

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)														
						タイプ※	指標名	見込値(2023)	実績値(2023)											
3 国籍を越えた交流による地域づくり																				
3-A-(1) 「やさしい日本語」の普及	① 「やさしい日本語」の普及	◆行政職員向け「やさしい日本語」の研修実施・普及	人事課	職員が積極的に受講できるよう、研修の体制づくりについて多文化共生課と調整を行う。	b：取組実績把握															
											多文化共生課	職員向け「やさしい日本語」研修会を行います。	a：数値把握	研修会の実施	1回					
																	伊賀の伝丸	やさしい日本語講座への講師派遣	a：数値把握	やさしい日本語講座参加者合計数
			◆地域や企業等での「やさしい日本語」に関する取組の推進・普及	多文化共生課	地域や企業等で研修会や周知など行い、「やさしい日本語」の推進・普及に努めます。	a：数値把握	研修受講者数	40人												
										社会福祉協議会	外国人防災リーダー育成事業「やさしい日本語」の普及（伊賀市地域活動支援事業_協働促進支援コースを活用）	a：数値把握	外国人防災リーダー研修受講者数	累計30人						
																伊賀の伝丸	やさしい日本語講座の実施、講師派遣			
										国際交流協会	市民等を対象とした「やさしい日本語」研修会の開催	b：取組実績把握								
			中外	外国人の方だけではなく、障がい者の方にも「やさしい日本語」の取組を進めていく。																
			3-B-(1) 文化・スポーツ交流の促進	① 多文化交流機会の充実	-	上野図書館	多言語おはなし会の開催	a：数値把握	多言語おはなし会の開催	2回										
													多文化共生課	多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実します。	a：数値把握	多文化共生理解イベントの実施	3回			
																			伊賀の伝丸	交流イベント企画支援、通訳翻訳支援
						② 市民、地域が主体となった交流の促進	-	多文化共生課	出前講座などによる、多文化理解の啓発を行います。	a：数値把握	出前講座の実施	1回								
															エクセディ	伊賀FCくノ一三重のホーム試合を安く観戦できるように補助				
3-C-(1) 学習・文化活動に参加できる環境づくり	① 生涯学習・文化施設等における多言語対応の推進	-	上野図書館	外国語の絵本の充実	a：数値把握	外国語の絵本の購入	未定													

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)
	境づくり	語対心の推進		生涯学習課	生涯学習事業資料を簡単な言葉で作成するなど、わかりやすく提供するよう努めます。	d：把握 困難			
				伊賀の伝丸	企画支援、通訳翻訳支援				
	3-C-(2) 外国人住民との 連携・協働	① 住民同士の連 携・協働の促進	-	医療福祉政策	地域住民と外国人住民が交流する事業等について、地域福祉ネットワーク会議を中心にそれぞれの地域で検討していくように努めます	b：取組 実績把握			
				多文化共生課	外国人防災リーダーなどを活用し地域との交流の機会を促進します。	b：取組 実績把握			
				伊賀の伝丸	企画支援、通訳翻訳支援				

伊賀市多文化共生推進プラン（第1期）進捗管理シート

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)				
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)	
4 外国人住民も活躍する地域づくり										
4-A-(1) 日本語学習機会の拡充	① 日本語学習の機会づくり	◆地域や企業における交流機会を活かした日本語学習の機会づくり	多文化共生課	日本語ボランティア研修を行い、日本語教室の支援や支援者の育成を行います。	a：数値把握	日本語ボランティア研修の実施	1回			
			生涯学習課	地域の活動に活かせるよう、担当課から情報提供をします。	d：把握困難					
			エクセディ	技能実習生への日本語オンライン講座の開催						
	② 協働による日本語教室の開設	◆日本語教室の拡充	多文化共生課	日本語教室の取組拡充について、庁内及び関係機関と検討を行います。	b：取組実績把握					
			生涯学習課	(再掲) 地域の活動に活かせるよう、担当課から情報提供をします。	d：把握困難					
			伊賀の伝丸	企業や介護施設への日本語講座の提供（講師派遣）	a：数値把握	年間学習者数	50人			
		◆地域、企業等における日本語教育活動コーディネート	多文化共生課	日本語教室やweb教材などを紹介し、日本語教育の活動支援を行います。	b：取組実績把握					
			商工労働課	多文化共生センターや通訳兼相談員などと連携しながら就労相談などを行う 人権啓発企業訪問の際に外国人雇用があるか確認の上、言葉や文化に対する取り組みを行っているか実態把握し、取り組みがないなら取り組むよう検討を促す	b：取組実績把握					
			伊賀の伝丸	企業や介護施設への日本語講座企画提案						
	◆地域、企業等における日本語教育の実情把握	多文化共生課	人権学習企業連絡会などを通じ、日本語教育の実情把握を行います。	a：数値把握	企業・事業所訪問人権啓発事業（商工労働課）アンケート調査	1回				
		商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際に、外国人雇用があるか確認の上、言葉や文化に対する取り組みを行っているか実態把握し、取り組みがないなら取り組むよう検討を促す	b：取組実績把握						
		生涯学習課	地域における日本語学習の実情把握に努めます。	d：把握困難						

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)						
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)			
		③ 子どもへの支援	◆長期休暇期間中における学習支援教室の開催	伊賀の伝丸	企業や介護施設への日本語講座の把握							
				多文化共生課	長期休暇期間中に外国につながる子どもの学習支援育の一環としてセミナーを開催します。	a：数値把握	外国につながる子どものためのセミナー実施	2回				
				生涯学習課	(再掲)小学生を対象として、放課後や長期休暇中の活動拠点(居場所)を提供します。	a：数値把握	放課後こども教室開設数	4か所				
				伊賀の伝丸	冬休み学習支援教室	a：数値把握	子ども学習支援教室の開催	年40回				
				国際交流協会	子どもの学習支援教室の開催	a：数値把握	子ども学習支援教室の開催	年40回				
				◆学習支援に携わる人材等の育成	学校教育課	(再掲)各校に日本語指導コーディネーターを派遣し、日本語指導担当者に対する指導や日本語能力測定方法等の研修などを実施するとともに、外国人児童生徒教育の担当者を対象に研修を実施する。	b：取組実績把握					
				伊賀の伝丸	ささゆり教室ボランティア先生研修の実施	a：数値把握	講座参加人数	15人				
				国際交流協会	ボランティアスタッフの募集と研修	a：数値把握	ボランティアスタッフの募集と研修	10人				
				◆学習ニーズやレベルに応じた日本語教育の推進	学校教育課	初めて日本の学校へ通うことになった外国人児童生徒で、日本語が全く話せない、ほとんど理解できない場合、伊賀市における外国人児童生徒教育の拠点校の1つである上野東小学校内に設置した初期適応指導教室において、集中的に日本語指導や学校への適応指導を行う。	c：その他					
				4-A-(2) 双方向による情報受発信	① 有効なツールの活用による情報の多言語発信	◆行政情報の多言語化	さくらりサイクルセンター	外国語版ごみ分別アプリの利用促進	a：数値把握	ダウンロード数	500ダウンロード	
							多文化共生課	多言語情報紙の発行や庁内各課からの依頼により情報の多言語化を行います。また、多言語情報の活用について周知を行います。	a：数値把握	多言語情報紙の発行	12回	
						◆SNS等の活用	多文化共生課	多文化共生センターホームページ、フェイスブックを活用し、積極的な情報発信に努めます。	a：数値把握	フェイスブックでの発信	48回	
						◆外国語版情報紙のPRと活用	国際交流協会	外国版情報誌の発行と配布と内容充実のためのアンケートの実施	b：取組実績把握			
② 情報を「つなぐ」機能と体制の構築	◆外国人サポーターなどの人材発掘と活動のマッチング	多文化共生課	多文化共生相談員や各種団体等と協力し、人材発掘を行います。			b：取組実績把握						

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)						
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)			
		架		商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際の資料には外国人に関する資料もあり、社員を含めて広く閲覧できる環境下に置いてもらえる（食堂や休憩室など社員が共用しているスペースへの設置など）よう依頼する。	b：取組 実績把握						
				◆企業従業員等への情報提供の充実	多文化共生課	市内の企業等と連携し、多言語対応の情報活用について企業訪問等で啓発を行います。	b：取組 実績把握					
				商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際の資料には外国人に関する資料もあり、社員を含めて広く閲覧できる環境下に置いてもらえる（食堂や休憩室など社員が共用しているスペースへの設置など）よう依頼する。	b：取組 実績把握						
				エクセディ	情報誌（やさしい日本語情報誌「伊賀」等）の設置、通訳の配置、 通訳による生活情報の提供と生活面の相談							
				◆企業等における「まとめ役」を通じた情報伝達のしくみづくり	商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発を通じて外国人を含めた情報伝達体制を確認する	b：取組 実績把握					
				4-A-(3) 外国人への偏見・差別の解消	① 啓発活動の充実	◆すべての人への意識啓発	人権政策課	人権講演会や人権問題地区別懇談会、人権パネル展における周知・啓発を行う	a：数値 把握	周知回数	5回	
				多文化共生課	多文化共生理解事業（伊賀市国際交流フェスタなど）を関係関係団体と協力実施し、すべての人に対し意識啓発を行います。	a：数値 把握	（再掲）多文化共生理解イベントの実施	3回				
				商工労働課	人権啓発企業訪問及び伊賀市人権学習企業等連絡会加入事業者への啓発の際に、外国人差別だけでなく、社内でのすべての差別事象の発生の有無を確認するとともに、発生した場合はその概要や対処など、再発防止策も含めて聞き取る。 また、啓発資料には外国人に関する資料もあり、社員を含めて広く閲覧できる環境下に置いてもらえる（食堂や休憩室など社員が共用しているスペースへの設置など）よう依頼する。	b：取組 実績把握						
				生涯学習課	市民が人権に関する基本的な知識や考え方を習得できるように、効果的な学習機会の充実に努めます。	d：把握 困難						
				エクセディ	社内の人権方針の確実な実行 企業倫理（行動規範）への反映・周知							

展開方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)					
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)		
		② 交流機会の創出	◆多文化理解のための交流機会の創出	伊賀の伝丸	人権講演への講師派遣	a：数値把握	人権講演 講座参加者合計数	500人			
				スポーツ振興課	イベント開催時の案内や要項をやさしい日本語や分かりやすい表示にすることで、誰でも参加しやすいイベントに、さまざまな方が参加してもらうことで交流機会をつくる。	d：把握困難		実施する			
				地域連携部 阿山支所	人権を考える集い(地区別懇談会)において外国人差別の解消を啓発する。	b：取組実績把握					
				多文化共生課	(再掲) 多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実します。	a：数値把握	(再掲) 多文化共生理解イベントの実施	3回			
				生涯学習課	(再掲) 市民が人権に関する基本的な知識や考え方を習得できるように、効果的な学習機会の充実に努めます。	d：把握困難					
				伊賀の伝丸	会員やボランティアとの交流会 (BBQなど)	a：数値把握	交流会参加人数	40人			
				国際交流協会	国際交流フェスタ開催と実行委員会等への在住外国人の参加促進 在住外国人が日本文化に触れるイベントの開催 外国文化習慣等の紹介講座と料理教室の開催	b：取組実績把握					
				4-B-(1) 住民の声を聴くための機会づくり	① 外国人住民からの広聴機会の確保	-	秘書広報課	公式ホームページの「お問い合わせフォーム」「市への提案・提言」で広く意見を受け付けるほか、eモニター制度を活用する。	b：取組実績把握		
							多文化共生課	外国人住民を含む多文化共生推進プラン委員会や外国人住民アンケートを実施し、当事者の意見を聴く機会を設けます。	a：数値把握	員会等の開催	
				4-C-(1) まちづくり、地域づくりへの参画	① 市政への参画機会の確保	-	多文化共生課	外国人住民が安心して暮らすことができるよう各種委員会等へ外国人住民の参画を進めます。	a：数値把握	外国人住民の審議会委員数	6人
	② 地域活動への参画促進	-									
4-C-(2) 外国人住民の人材育成と支援者の人材育成	① 意欲ある外国人住民の発掘と育成	-	多文化共生課	(再掲) 多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実させます。	a：数値把握	(再掲) 多文化共生理解イベントの実施	3回				
	② 外国人住民を支援する人材の育成	-	多文化共生課	(再掲) 多文化共生理解事業や国際交流フェスタなどを通して多文化交流の機会を充実させます。	a：数値把握	(再掲) 多文化共生理解イベントの実施	3回				

展開 方向	取組の方向	取組内容	主な事業（具体的な取組）	取組主体	2023(R5)年度 各主体の取組提案 市の事業(取組)計画	活動指標(把握可能なもの)			
						タイプ※	指標名	見込値 (2023)	実績値 (2023)
	4-C-(3) 外国人起業家などへの支援	① 外国人起業家への支援	-	多文化共生課	起業家支援対策において、他課と連携し多言語で支援を行います。（通訳・翻訳業務）	b：取組 実績把握			
				商工労働課	起業を検討している方に対しては、地元の商工団体やゆめテクノ伊賀のインキュベーションマネージャー等と連携し、サポートを行う。	c：その他	起業・事業承継促進事業補助金の採択数（外国人だけでなく日本人も含めた総数）	17件	
				上野商工会議所	確定申告、国・県・市の支援金、給付金、補助金等についての説明指導〈上野商工会議所〉	d：把握 困難			
		② イベント等への支援	-	スポーツ振興課	事務員が「やさしい日本語研修会」などの研修に参加し、イベント開催時に誰もが見やすい案内やチラシ作成ができるようにする。	b：取組 実績把握			
				多文化共生課	イベント等の企画や通訳・翻訳業務を支援します。	b：取組 実績把握			

■伊賀市多文化共生推進プラン 第1期（2023-2026） 成果指標実績表

展開方向1 だれもが安全に安心して暮らせる地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	伊賀市に住んでとてもよかったと感じている外国人の割合	現状値 39%	目標値 実績値 達成率	41%	43%	44%	目標値 45%
	外国人防災リーダー研修受講者 累計人数	現状値 14人	目標値 実績値 達成率	30人	35人	35人	目標値 35人

展開方向2 教育・子育てしやすい地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	とても子育てしやすいと感じる人の割合	現状値 39%	目標値 実績値 達成率	43%	47%	51%	目標値 55%
	高等学校への進学率	参考値 95% (2021)	目標値 実績値 達成率	97%	98%	99%	目標値 100%

※2022 高等学校への進学率(37/38) 97.36%

展開方向3 国籍を越えた交流による地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	日本人との交流がある外国人の割合	現状値 44%	目標値 実績値 達成率	46%	47%	48%	目標値 50%
	「やさしい日本語」の研修受講者 累計人数	現状値 35人	目標値 実績値 達成率	75人	115人	155人	目標値 180人

展開方向4 外国人住民も活躍する地域づくり

		2022		2023	2024	2025	2026
指 標	外国人住民の審議会等委員 延べ人数	現状値 5人	目標値 実績値 達成率	6	7	8	目標値 8人
	差別を受けたことがある人の割合	現状値 21%	目標値 実績値 達成率	15%	10%	5%	目標値 0%